



株式会社impactTV

～えっ、民生用？ 業務用は業務用タブレットで。～

2019.5.14

**impactTV**

## 会社情報

- 商号 : 株式会社impactTV  
(Impact HD GROUP【東証マザーズ：6067】)
- 本社所在地 : 〒150-0002  
東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル 6階
- 設立 : 1986年7月30日
- 資本金 : 359,698,376円 (2019年1月現在)
- 従業員数 : 35名 (2019年1月現在)
- 事業内容 : デジタルサイネージを中心とした店頭販促トータルソリューションの提供 (企画、製造、販売、運用支援、マーケティング分析)

## 導入企業 (抜粋・50音順)

### メーカー

[医薬品]エーザイ株式会社,参天製薬株式会社,ゼリア新薬工業株式会社,武田薬品工業株式会社,  
田辺三菱製薬株式会社,[食料品]江崎グリコ株式会社,カルビー株式会社,  
日清オイリオグループ株式会社,日本水産株式会社,フジッコ株式会社,山崎製パン株式会社,  
森永乳業株式会社,[化学]アース製薬株式会社,エステー株式会社,花王株式会社,小林製薬株式会社,株  
式会社資生堂,株式会社マンダム,ユニ・チャーム株式会社,ライオン株式会社,レック株式会社,  
[電気機器]エレコム株式会社,パナソニック株式会社,[その他]株式会社キングジム,  
株式会社タカラトミー,株式会社パイロットコーポレーション 他

### 小売・流通 その他

[小売]株式会社アイケイ,株式会社あさひ,イオン株式会社,株式会社ケーヨー,株式会社コジマ,  
株式会社コスモス薬品,株式会社ジーフット,株式会社パッファロー,株式会社ハブ,  
株式会社ブレナス,株式会社平和堂,株式会社ライフコーポレーション,  
[サービス]株式会社あおぞら銀行,株式会社エイチ・アイ・エス, 西日本旅客鉄道株式会社,  
九州旅客鉄道株式会社 他

## 代表者略歴

代表取締役社長  
(インパクトホールディングス株式会社 取締役)

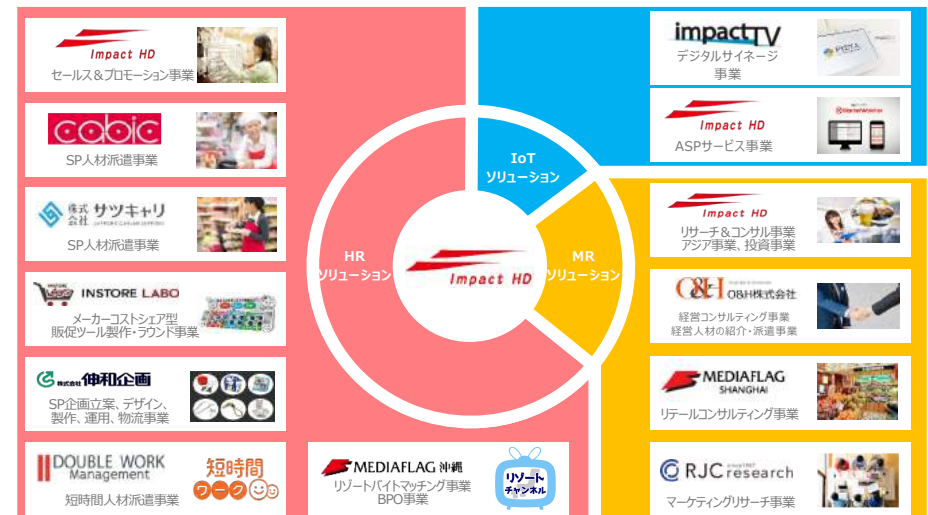
川村 雄二

1992年 株式会社ゴールドウィン 入社  
2007年 株式会社シアーズ(現 株式会社ImpactTV)入社  
2014年 同社 取締役 就任  
2017年 当社 取締役 就任  
株式会社ImpactTV 代表取締役社長 就任



## Impact HD GROUP

Impact HD GROUP (東証マザーズ6067) は「売り場を元気に、日本を元気に、そして世界を元気に！」という事業コンセプトのもと、店舗・店頭に特化したフィールドマーケティングを支援します。



# 02 | 事業沿革・導入実績&シェアを支える顧客メリット

## 沿革

1986年（昭和61年）にマーケティングセールスプロモーション会社として創業  
 1997年より電子POPの販売を開始し、小型デジタルサイネージ専門メーカーのパイオニアとして  
 時代に先駆けた業界初の販促用タッチパネル等を世に送り出してきました



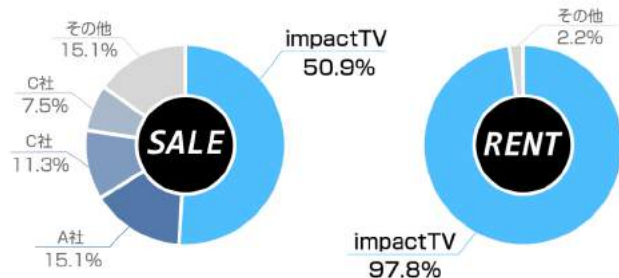
## 実績

電子POP販売数累計は115万台以上  
 20年間に渡り1,500社以上のお客様の全国の売場を盛り上げています



## シェア

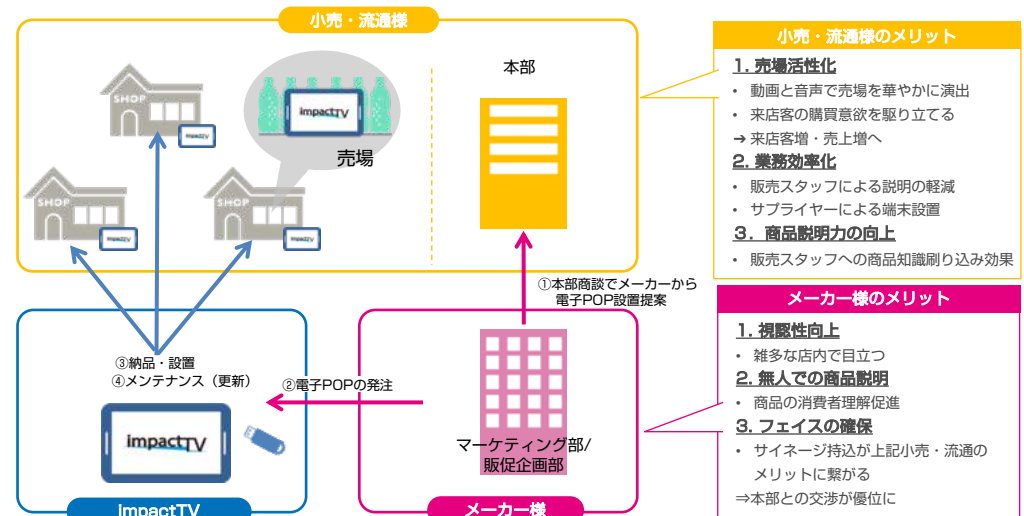
国内販売シェアでは50%超、レンタルシェアでは97%超  
 その内、約93%のお客様がリピート



出典：中目社「2016年度小型サイネージ/電子POP販売全体の国内出荷台数シェア」

## 顧客における導入メリット | ビジネスモデル

売上向上・情報訴求に加え、売場・カテゴリの活性化や業務効率化  
 メーカーにとっては流通本部と商談交渉するための武器になっています



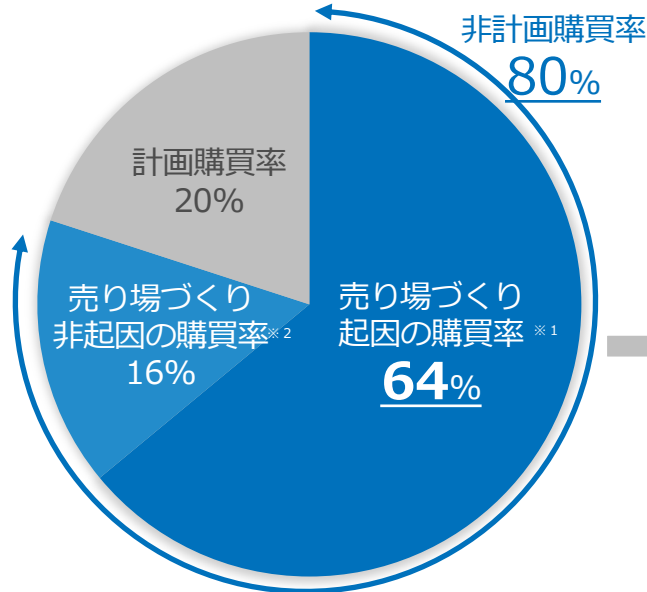


※イオンリカー株式会社様活用事例 <https://impacttv.co.jp/case/>

商品目の生活者に対し音と映像で視認性を高め  
商品情報提供を通じて強かに実売を促進する**販促用サイネージ**

01|Fact

- 店舗内購買者の8割は非計画購買者
- 非計画購買者の8割（全体64%）が、売り場づくりで購買決定



※1：展示物の分かりやすさ、VMD、マネキン、POP等  
 ※2：ブランドの安心感、思いつき、接客等  
 出典：インパクトホールディングス「非計画購買に関する自主調査(調査対象：1037名、20歳以上男女)」

02|Solution

- 商品目の音と映像で非計画購買層を惹きつけ、視聴、検索行動を誘発。
- その場で納得、購買へ。

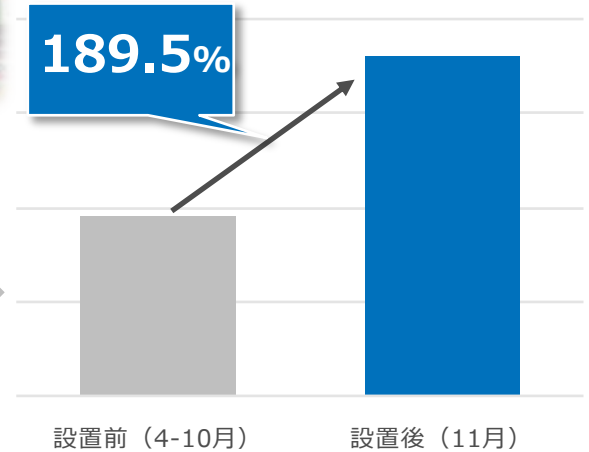


03|Result

- 直近実績：設置前対比約**1.9**倍増※

※対象商品の月間平均販売数  
 ※ナショナルメーカーへのヒアリングでは、通常1.3~2.5倍増の範囲

impactTV | 設置効果



- カテゴリ：一般用医薬品
- 設置場所：ドラッグストア
- 検証対象：一般用医薬品 (目薬)
- 検証期間：2016年4月~同年11月末日
- 検証方法：ドラッグチェーンでのサイネージ棚前設置店 (5店舗) のPOSデータにて、1店舗当たりの月間平均販売数を比較。

30年間の現場・現物・現実の3現主義によって培った  
現場提案力、開発工夫力、運用対応力

①現場提案力

- 直販7割
- ナショナルクライアント~1500社
- 小型電子POP累計販売台数日本No1

34年超培った経験を基に、売場環境や利用目的に合った商品を選定し、売れる売場づくりをご提案

棚の形状や売場規模など、現場環境に対応した最適な選定・導入を全面サポート

4型 狭スペースで小さな商品群に最適なサイズ	7型 小売店の定番棚に最適なサイズ	10型 原価競争激しいショップや受注などに最適なサイズ	14型 棚裏・エンドに最適なサイズ	19型 外部モニタ接続型	メディアプレイヤー
4VN	7VN	10VN	14RS	19VB	S6
マルチSlimPOP4 3LCD	SlimPOP4WB	SlimPOP4WBS	SlimPOP7WB	SlimPOP7WBS	Movie Booklet
4型	7型	10型	43インチ液晶スタンド一体型	32インチモニター	
VoiceMini EX	VoiceFish EX	VoiceThin	たてナビ	32インチモニター-MP32A	
サイネージバッテリー	Barcode Reader	モニターサイネージ	受取サイネージ	デジタル仕切りPOP	
メディアプレイヤー一体型モニター	スタンド	オリジナルラック			
32V	43V	55V			

お客様の声:某日用品メーカー様

通常の取付金具だと電子POPは設置できる場所が限られていて、これまでは導入は苦戦を繰り返していました。ImpactTVさんが同社の売場環境に合わせたオリジナル金具を開発してくださったことで、これまであきらめていた売場にも電子POPを設置することができ、積極的に販促企画を行うことができました。

②開発工夫力

- 台湾・中国との20年超のファブレス
- 表示器、音声、無線通信のコア技術
- 多品種少量生産

お客様の声を基にデザインした電子POPを設計製造全ての工程に渡り、自社でプロデュース

ハードからソフトまで一貫して自社開発可能な体制

**お客様専用カスタマイズ開発**

電子POPの開発で培ったノウハウ・技術力を活用し、お客様のニーズを把握・一緒になってアイデアを形にいたします。

**導入事例①: 餅イホンガイド様**

▶ 小型モニターのノウハウを活用したポータブル通信端末

- ✓ 歌舞伎の公演内容に合わせた字幕ガイドをリアルタイムにオンラインで配信

**導入事例②: オンキヨー様**

▶ 消費者自らがコンテンツ切替を行う仕掛けで実体験に訴える商品訴求を実現

- ✓ 利用者の任意のタイミングでコンテンツ切替ができるスイッチャー開発
- ✓ 約600店舗に設置しているヨーロッパの電源規格に適合可能

**サイネージプラットフォーム開発**

当社既存システムをベースに、ハードウェア/ソフトウェア/サーバーのカスタマイズを行い、課題解決のためお客様専用サイネージプラットフォームを開発いたします。

**導入事例①: 西日本旅客鉄道様**

▶ ホームページに掲載している運延情報を読み取り、電子POPの画面へリアルタイムに自動配信するサービス

- ✓ 低価格のいい紙でもタイムリーな運行情報をモニターで提供
- ✓ 効率的な情報配信と利用者の満足度向上を実現

**導入事例②: 紳アイデイズ様**

▶ 消費者の情報収集と商品提供者の情報提供双方のニーズを満たすデータベース型型店舗サイネージ

- ✓ 消費者がバーコードリーダーで商品を読み取るだけで簡単に欲しい情報を取得可能
- ✓ 商品提供者が更新したコンテンツをオンラインで簡単に配信することが可能

③運用対応力

- コールセンター・事務局対応
- 倉庫代行
- ラウンド対応

電子POPを中心とした店頭販促の企画・実行・アフターサポートに関わるサービスをワンストップでご提供

機材設置・倉庫代行・問い合わせ電話対応までトータルサポート、持続的な運用を可能に

<p><b>設置ラウンダー</b></p> <p>電子POP導入時（設置等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 営業が全店舗を回りきれない</li> <li>• 電子POPを保管しておく倉庫がない</li> <li>• 売り場のメンテナンスが実施できていない</li> <li>• 店舗の状況がどうなっているかわからない</li> </ul> <p>↓</p> <p>ご購入いただいたImpactTVを当社ラウンダーが全店舗に設置致します。作業結果は専用システムで写真付きレポートでご報告いたします。</p>	<p><b>物流倉庫代行サービス</b></p> <p>電子POPの管理（保管等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 店舗からの電子POPの扱い合わせに時間が取られ本来の業務に支障をきたす</li> <li>• 電子POPを再出荷するノウハウがない</li> <li>• 廃棄するに手間がかかる</li> </ul> <p>↓</p> <p>当社の電子POP専用倉庫に預け、発送・返却拠点として倉庫代行致します。また、廃棄処分も承ります。</p>	<p><b>フリーダイヤル</b></p> <p>電子POP導入後（問い合わせ等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 店舗からの電子POPの扱い合わせに時間が取られ本来の業務に支障をきたす</li> <li>• 使い方がわからずどうしていいかわからない</li> </ul> <p>↓</p> <p>ご購入いただいたImpactTVについて365フリーダイヤル対応でサポート致します。店舗担当者から直接ご連絡頂いた場合もご対応致します。</p> <p>(受付時間: 10:00~17:00)</p>
--	---	---



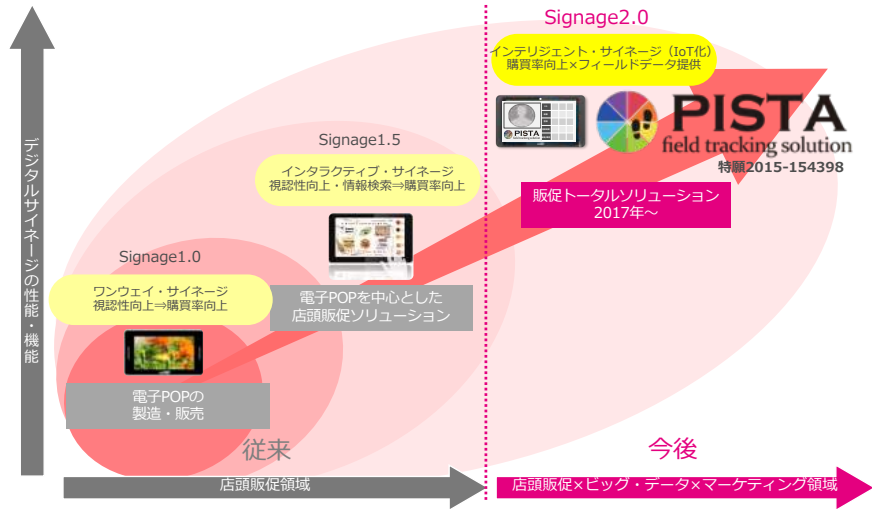
**PISTA**  
field tracking solution

**impactTV**

corporate profile

■ これからの店頭販促ソリューション

従来の店頭販促機能に加え、商品目の消費者行動をデータ化し、蓄積することでマーケティングに資するフィールド情報を提供します



■ PISTAソリューション

サイネージとしての機能や取得するデータによってソリューションをお選びいただけます

BASIC	ADVANCE	PRO	FACEMATCH
人感センサー			
インタラクティブ (タッチ)			
	オンライン		
		フィールドトラッキング	
			属性別コンテンツ切替
<p>消費者と情報接点の最適化を実現するためのタッチパネル機能実装</p>	<p>サイネージをオンライン化して一元管理/配信</p>	<p>棚前の消費者行動をフィールドトラッキングデータとして取得 定量化・可視化</p>	<p>画面注視者の属性に応じたコンテンツの出し分けが可能</p>

■ PISTA導入のメリット

今までは、経験・勘・度胸を元におこなっていた売場作りから脱却し、PISTAで得られるデータを元に主観を排除した売場作りが可能になります

店頭販促活動の改善・高度化

DO (実行)

PLAN (最適化計画)

ACT (分析)

CHECK (検証)





“PISTAの人感センサー機能”を使えば  
「通行時に映像と音声で呼びかける」ことが可能。

従来の電子POP

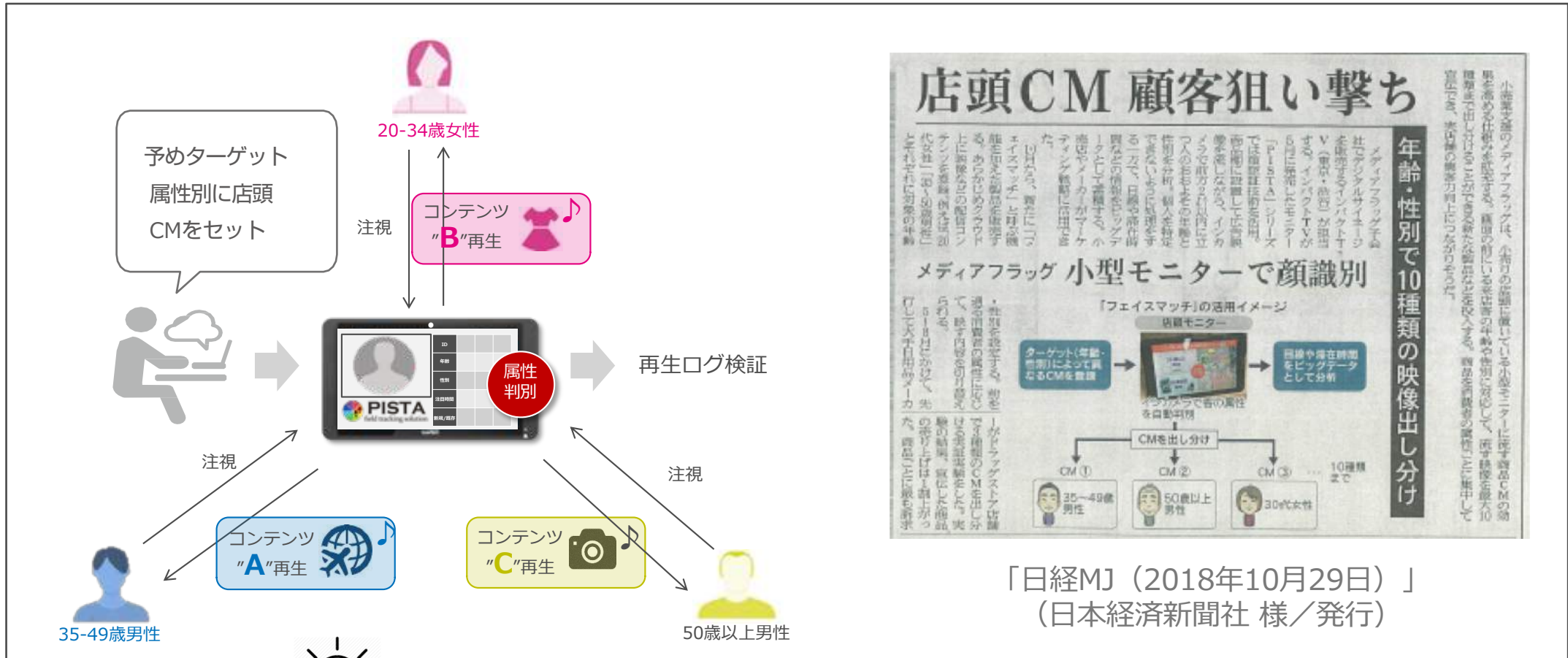


人感センサー搭載のPISTA



一般的に売場を回遊する消費者はわずか0.2秒で商品目前を通過するといわれており、この一瞬で消費者へ強くアピールすることができるか否かが視認率・購買率向上の鍵。

更に“PISTAのFACEMATCH機能”を使えば  
 「年齢性別にCMを出し分ける」ことが可能。



「日経MJ (2018年10月29日)」  
 (日本経済新聞社 様/発行)



購買プロセスの重要KPIとされる立寄率向上が期待できます。

更に”PISTAのフィールドトラッキング機能”を使えば  
**「仮説を確かめながら、施策の精度を高める」**ことが可能。

Tracking	売場を通行する (総通行人数)	
Attention	棚に顔を向ける (顔検出数)	
Interest	立ち止まる (注目時間 2秒以上)	
Desire	商品前で滞留する (注目時間10秒以上)	
Memory	商品情報を入手する (タッチ検索)	
Action	商品情報を手に取る (バーコード利用)	
Buy		

**注視者の性別・年齢・視聴時間を計測**

**メディアフラッグ 売り場モニターカメラで分析**

性別 男性  
年齢 30~40  
ムード

**グリコなど導入へ**

小売業支援のメディアフラッグは小売店の商品棚に設置する小型モニターのインカメラで、客の年齢や視線を分析する技術を開発した。属性ごとに表示広告を切り替えたり、関心が高い商品を割り出したりできる。医薬品や食品メーカーと実証実験を進めており、すでにエーザイや江崎グリコなどが導入の検討を始めた。従来メーカーが手を出しにくかった売り場の最前線のマーケティングの手法となりそうだ。

一般に小型の売り場モニターはスーパーやドラッグストアなど小売店の店頭の商品棚に設置し、販促目的でPR動画を流すのに使われる。映像はメーカーが送り込みたい商品の想定客層向けに製作する。ただ、実際にターゲットとなる属性の人が店内で興味を示しているかなどはメーカー側には分からず、商品を展開している小売店にヒアリングするしかなかった。メディアフラッグが28日に発売する小型デジタルサイネージ「アドバンス」は画面の側にインカメラを付け、顔認識技術を取り入れた。設置した棚の前方2メートル以内に入ると、性別とおおよその年代、滞在時間、視線を分析してデータ化する。

「日経MJ (2018年5月25日)」(日本経済新聞社 様/発行)



データに基づいて、売上を上げるための次の仮説が立てられます。



開発中の業務用タブレット端末のご紹介

民生品タブレットは汎用性があるように見えて  
特定の業務利用では、現場や運用にて種々の問題・懸念が発生。  
不要な機能/仕様もコストの一因。

### ● 運用上イマイチ。

- ✓ 充電のために、**都度充電用ケーブル**を接続しなければならない。
- ✓ 画面が大きいのは良いが、**重い、高い**。



### ● トラブル。

- ✓ 充電**コネクター部**が劣化していく。気づいたら充電できていないことがある。
- ✓ **フリーズ**したり、OS画面に戻ることもある。

### ● 不安。

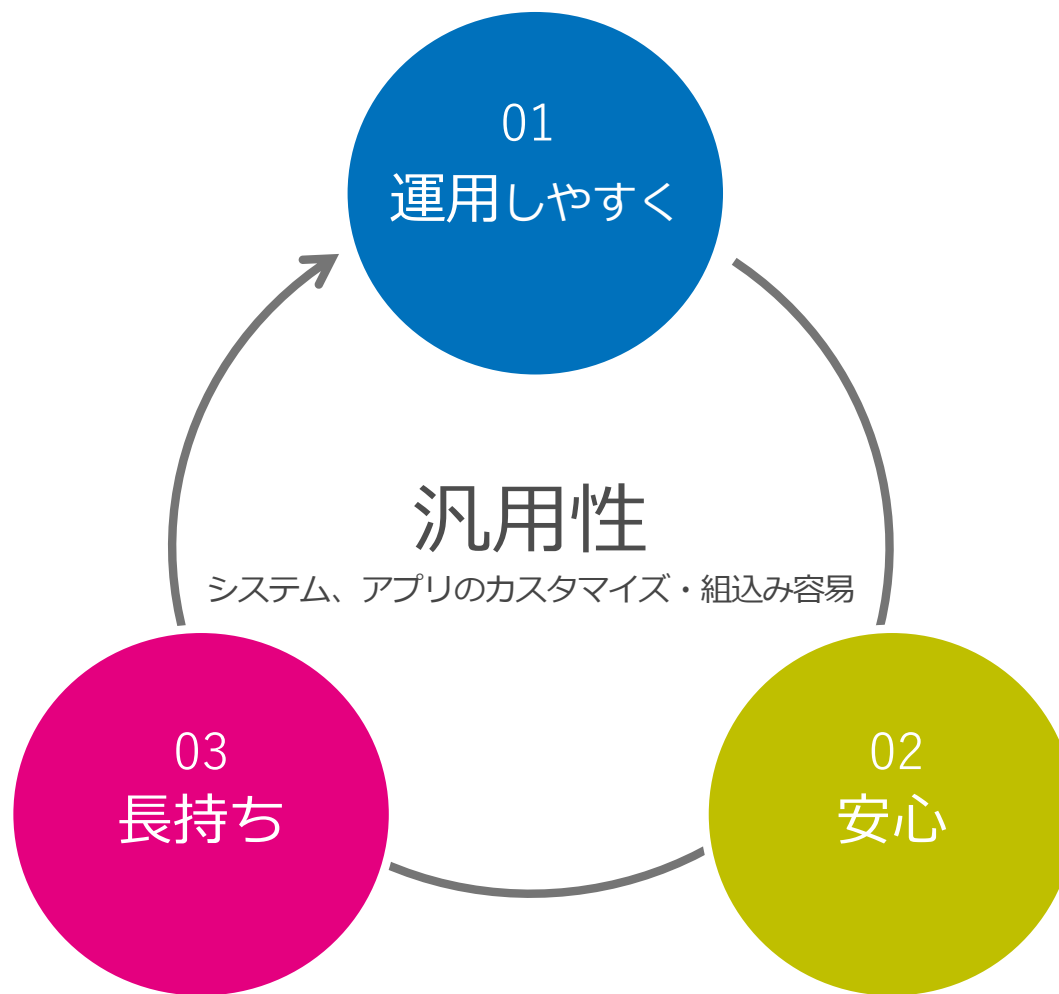
- ✓ **発火等の事故**が報道されているが、安全や店舗の被害といった面で本当に事故はないのか。
- ✓ タブレットは**落下**に弱いと聞いているが、床に落とすことだったあり得る。



### ● 懸念。

- ✓ **数年間**利用したいが、業務用で使うとバッテリーが1,2年でへばってしまうのでは・・・
- ✓ **バックライト**の寿命は20,000時間と聞いているが、24時間店舗では2.2年で暗くなる計算・・・

業務用タブレットに求められる機能を整理・追求。



(仮称)

# iTV Tab11



image

## ディスプレイ

- 11.6インチ IPSパネル、1920×1080pixel
- 静電容量方式タッチパネル

## チップ

- RockChip RK3368
- ARM Cortex A53 1.5Ghz octalcore
- PowerVR G6110

## OS/メモリ/ストレージ

- Android OS7.1
- 1GBメモリ
- 16GB (eMMC) ストレージ

## 通信/動画再生

- Wi-Fi IEEE802.11b/g/n/ac 2.4/5GHz
- 赤外線通信 (タブレット・クレードル間)

## 電源/充電

- 防爆対応リチウムイオン電池採用
- 専用クレードル利用ワイヤレス充電

## 対応規格/防塵防滴/センサー

- PSE、RoHS指令、Telec、VCCI ClassB
- IP54
- 姿勢検知センサー
- 放置時アラート機能

開発進行品のため、予告なく仕様等が変更になる場合があります



tablet



cradle



外食



工場・倉庫



医療・福祉



接客カウンター



## 開発責任者

## 略歴・主な実績

**名倉昭仁**  
Akihito Nagura



取締役

- 米国大型コンピュータ周辺装置メーカー、メモレックス・テレックス日本法人(現兼松エレクトロニクス株式会社)に入社後、一貫してコンピュータ関連事業に係わる。
- パソコン周辺機器を中心にモノ作りに傾注していたが、2007年12月に株式会社impactTVに入社後は小型のデジタルサイネージを中心に開発・製造。
- 海外渡航歴は台湾250回、中国は120回を数え、台北・深圳・蘇州での製品開発実績は100を超える。

**法村ひろし**  
Hiroshi Norimura



開発部長  
(ハードウェア部門責任者)

- 世界初ポータブルコンピュータ“DG One”の開発に参画。1988年台湾エイサーにてノートPCのPMを歴任。
- 1992年帰国し、電子機器開発専門会社を設立。コンピュータ、教育用タブレットを開発。
- 世界初の双方向リアルタイムリモート筆談機(世界特許取得)のPMを担当。
- 2011年香港グループセンスリミテッド社の日本法人の代表取締役に就任。
- 国内各社向けに電子文具、車載用通信機、TTO(テーブルトップオーダ端末)、電子辞書、ハンディーターミナル、カラオケ用リモコン等の製品開発・供給をおこなう。
- 2015年株式会社impactTVに入社。デジタルサイネージだけでなく歌舞伎座向けシステム等の特機開発に従事。

**松井節司**  
Matsui Setsuji



開発部長  
(ソフトウェア部門責任者)

- 米国プリンター(ページプリンタ)メーカーに入社し、品質管理・生産管理・生産技術部門を経て開発部にて10年間、制御系プログラムの開発、日本・米国での製造工場の立ち上げに参加。
- 帰国後は大手遊戯機メーカーの周辺機器事業部にてIC Cardシステムの設計・開発、海外ゲーミング機器の決済システム開発・ゲーム機を企画・開発。また、フィリピンでの製造工場の立ち上げに参加。
- 2013年株式会社impactTVに入社。コンテンツ配信システム、顔認識システム、BOSCH商品検索アプリ、ONKYOの商品デモ機器等の開発に従事。

(仮称)

# iTV Tab11



お問い合わせ : [pr@i-tv.jp](mailto:pr@i-tv.jp)

ご静聴ありがとうございました。